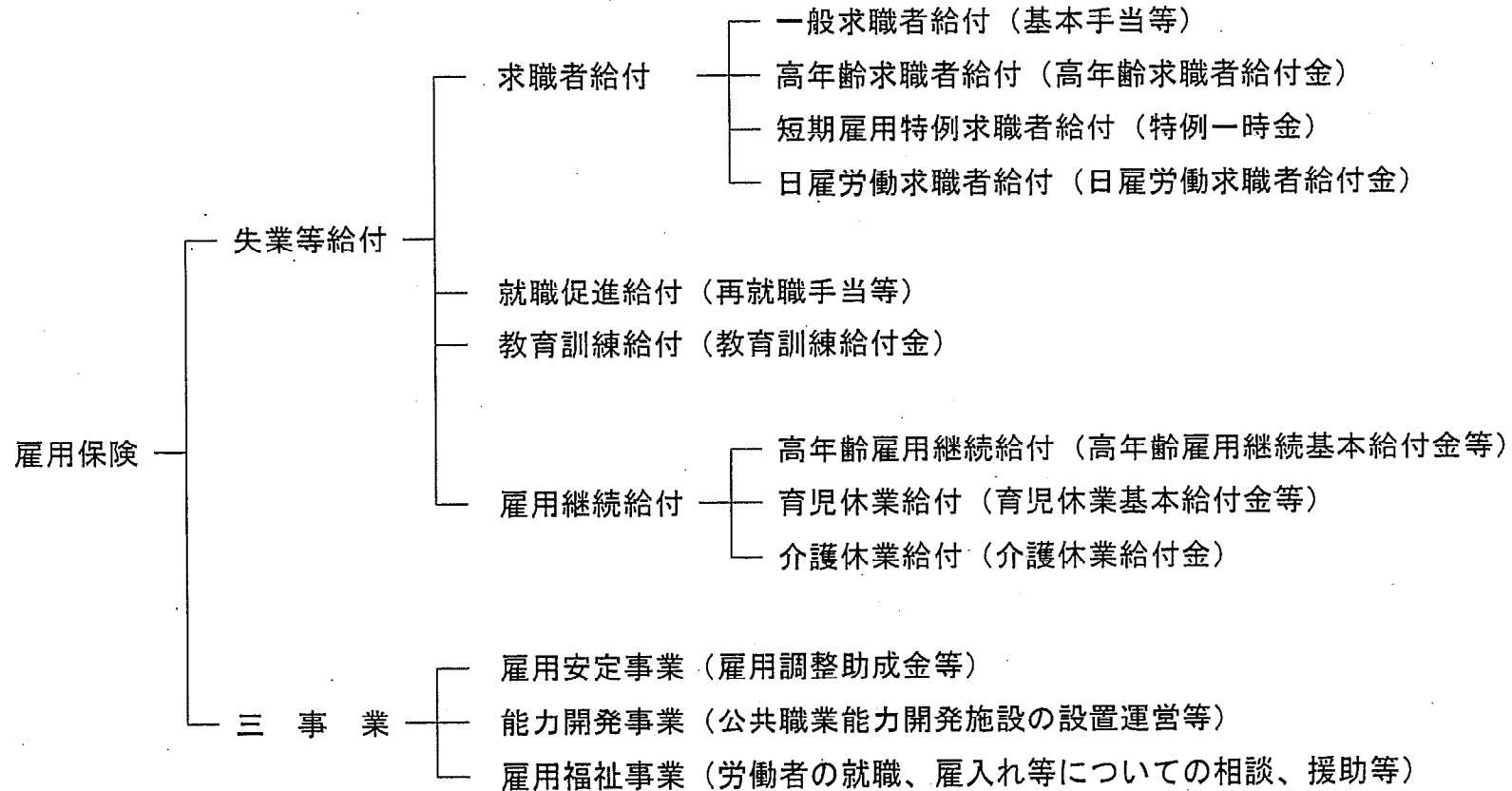
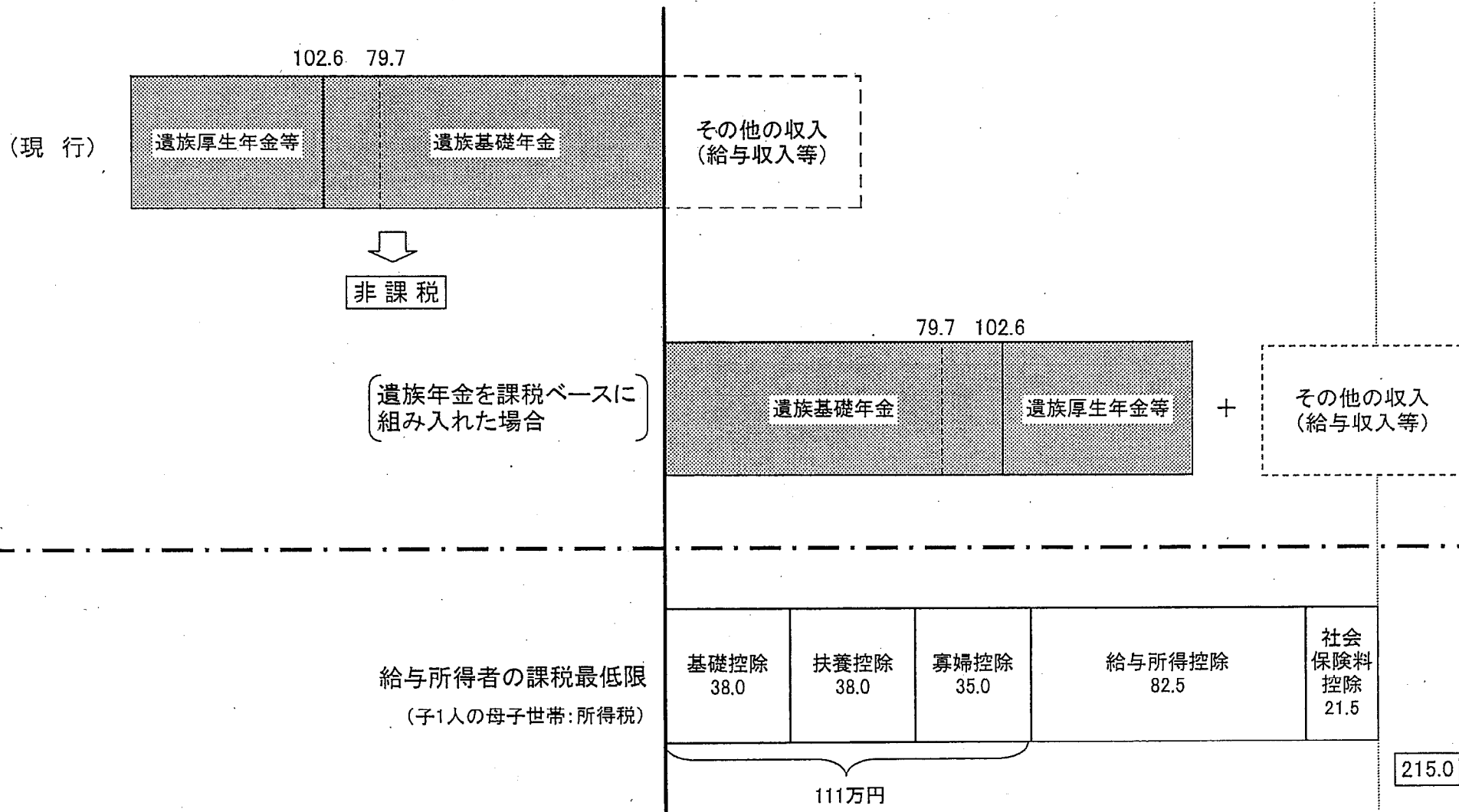


雇用保険制度の概要



遺族年金（子1人の母子世帯が受給）の場合

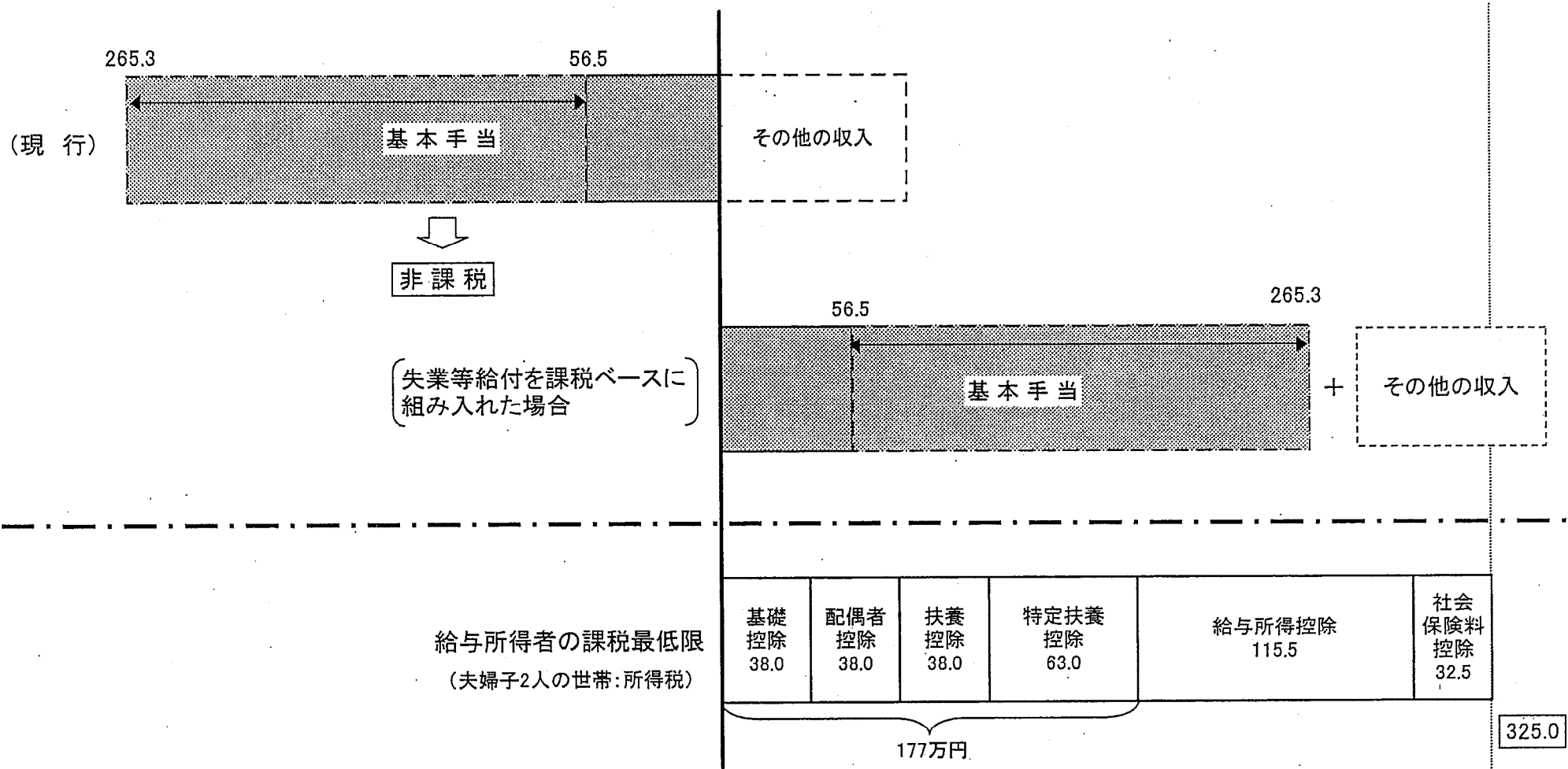
未定稿



(注)遺族厚生年金は、老齢厚生年金額(夫分)の3/4相当額が支給される。なお、この額は平均標準月額等の要件によって異なることになる。

失業等給付（基本手当）の場合

未定稿



- (注) 1. 「基本手当」については、45歳～60歳未満の労働者(被保険者であった期間20年以上)が倒産・解雇等により離職した場合の数値で、具体的には、基本手当(日額1,712円(最低)～8,040円(最高))に支給日数を330日として計算している。
 (参考)基本手当の日額は、前払賃金(賞与等を除く)の5割～8割の水準であり、給付日数は、年齢・被保険期間・離職の理由等により異なる。
2. 平成12年度の基本手当の初回受給者数は210.0万人、基本手当支給総額は18,923.1億円であり、単純に平均した場合1人当たり90.1万円となる。
 (国立社会保障・人口問題研究所「社会保障統計年報(平成14年版)」)
3. 失業等給付には基本手当等の一般求職者給付の他に、就職促進給付、教育訓練給付、雇用継続給付がある。